

客観的な指標の算出方法

【学修評価】

学修成果の評価は、定期試験の成績及び平素の成績、作業成績、レポート、出席状況をもとに、各科目でそれぞれの配点を決定し、合計 100 点満点で評価する。

なお、当該授業科目の欠席数とその授業回数の 1/5 を超えて欠席した者は学修意欲不十分と判断し、定期試験を受験することができない。

また、次の区分によって評定し、C 以上を合格とする。

S 90 点以上

A 80 点以上 90 点未満

B 70 点以上 80 点未満

C 60 点以上 70 点未満

F 60 点未満

【客観的な指標の算出方法】

各科目で設定した達成課題に対する修得率を客観的に評価し、当該学年履修全科目の合計点の平均値より算出し、それをもとに成績の分布状況を把握している。

成績評価の実施については、相対的な評価ではなく、達成課題をどの程度修得できたかという視点に立った絶対的評価を行っている。